【思考のプロセス・副校長からの問題】

植物の葉には、気孔があります。この気孔は、植物の体内の水分の調節（蒸散）や光合成の時に必要な二酸化炭素や呼吸で必要な酸素の出入りに使います。

問題は、「なぜ、植物の体内に水分が多くなると、気孔が自然に開き、蒸散が起こるのか？と言うことです。

その事を長い風船２本とセロハンテープを使って仕組みを説明して下さい。」でした。

思考のプロセス

① 気孔って何だっけ？　【わからなかったら検索して調べる。】

↓

② 気孔って穴のことを指していて、開いているのは「**孔辺細胞**」

③　では、孔辺細胞の形ってどんな形？　図１

※これができるようになるとかなり思考の達人となる

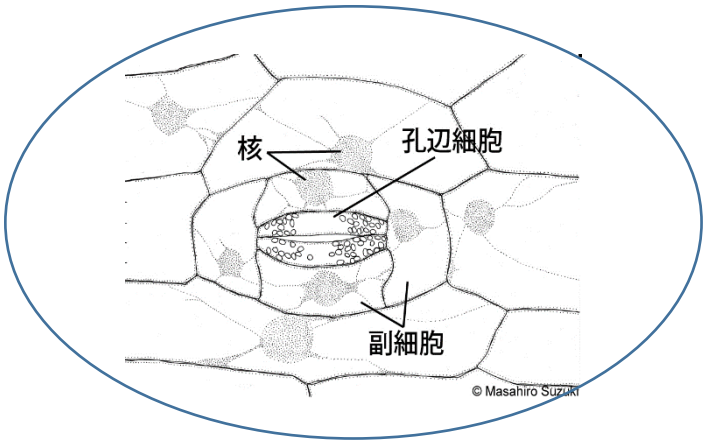
↓　　↓

④ 長い風船２本を使って孔辺細胞を作ってみる。【紙にらくがきで良い】

⑤ この長い風船２本にセロハンテープを貼ってみる。これをどこに貼るかで決まる。

⑥ もう少しで完成。しかし、これが完成してからなぜそうなるのかを考える。ここが重要。

図１　気孔と孔辺細胞



回答は次回